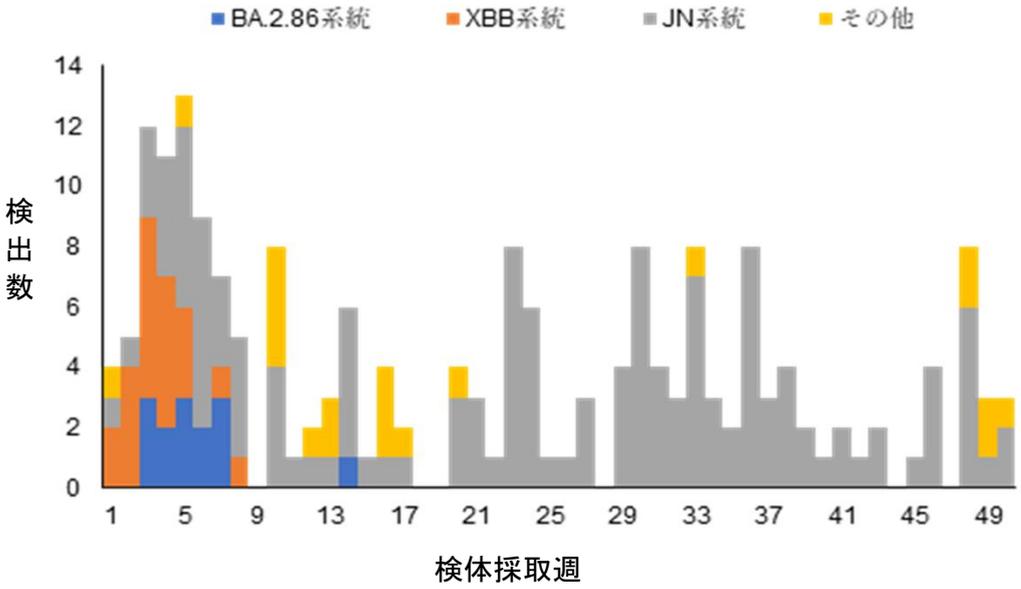


群馬県における新型コロナウイルスゲノムサーベイランスによる系列別検出状況

群馬県衛生環境研究所では、国立感染症研究所と共同で新型コロナウイルスのゲノム解析を行っています。2024年第1週から第52週までに検出された新型コロナウイルスの系統の変遷をとりまとめたので報告します。

2024年は、第1週からXBB系統が主流でしたが、第6週以降ではBA.2.86系統の亜系統であるJN系統が主流となりました。JN系統の中では、第8週まではJN.1系統が多く、第20週以降ではJN.1系統の亜系統の中で、スパイクタンパク質にいくつかの変異を有するKP.3系統が多く検出されました。その他の系統としてXDA系統なども検出されましたが主流流行株とはなりませんでした。

KP.3系統は、BA.2.86系統の亜系統であるJN.1系統の亜系統であり、スパイクタンパク質にS:F456L、S:Q493E、S:V1104Lの変異を獲得した株であるとされています。ワクチンへの効果に関するデータは少ないですが、JN.1系統よりもワクチン逃避性が高いことが推測されることから継続した監視が必要であると考えられます。



※BA.2.86系統には、JN系統を含まない

図1 新型コロナウイルス系統別検出数

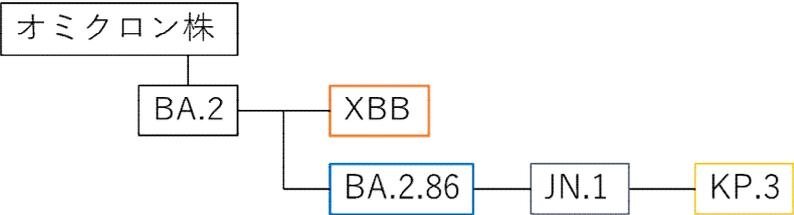


図2 2024年新型コロナウイルスの系統変遷